

地域生活を推進するための在宅サービスの充実に関する検討について

1 提案

在宅の障害のある人の支援について、入所施設から地域生活への移行に関する取組みが重視されており、在宅の障害のある人の現状と支援の取組み・課題等については、ほとんど把握されていないと感じている。

また施設入所(グループホームも含む)を望まない、あるいは在宅のまま生涯暮らしたいと望む障害のある人も少なくなく、現状の専門部会では対応が難しいと考える。

そこで、第七次千葉県障害者計画の策定に向けて、新たに在宅の障害のある人の支援を検討する専門のためのワーキングチーム、あるいは専門部会を設置して頂きたい。

2 今後の方向性

在宅の障害のある人の支援については、第六次計画の主要施策「1入所施設等から地域生活への移行の推進、(3)地域生活を推進するための在宅サービスの充実」に、現状と課題及び取組みの方向性が整理されており、入所・地域生活支援専門部会の担当となっている。

また、在宅で単身生活をする障害のある人の支援に関しては、在宅(家族などとの同居)、グループホーム、病院又は入所施設から一人暮らしというように、様々なケースが想定されますので、幅広い分野の委員からなる入所・地域生活支援専門部会の中で検討していくことが適当と思われる。

今後は、グループホームに加えて、親亡き後の在宅における支援の充実が、より求められることも予想されるので、事務局において、在宅サービスの充実について、県庁関係課における取組み等現状と課題を把握し、今後の取組みについて入所部会又は必要に応じて他の専門部会においても検討していく。